

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

谷地宣亮*

要 旨

本稿では、愛知県内に本店を置く信用金庫のディスクロージャー誌に基づいて、その経営理念と地域貢献活動の取組みを整理した。そして同じく愛知県内に本店のある（第二）地方銀行の経営理念と地域貢献活動の取組みとの間で比較を行った。

得られた結論をまとめると次のようである。信用金庫に必要なのは、協同組織性を活動にどのように活かしていきたいと考えているのかを経営理念の中に明示すること、そしてそれを具体的な行動で表わすこと、である。具体的な行動で表すとは、本業である金融業務や相談・支援業務においてはもちろん、文化・社会的貢献活動や環境への貢献活動においても、協同組織性のメリットを具体的にどのように活用しているのか、あるいはこれからどのように活用していこうとしているのかを明示して地銀との差別化を図っていかなければならない、ということである。会員や地域社会によって信金の姿勢や取組み内容が肯定的に評価されてはじめて、信金は彼らから支持される金融機関となることができ、その存在意義を広く国民に対してアピールすることができる。

キーワード：信用金庫，経営理念，地域貢献，ディスクロージャー誌

1. はじめに

国連は2009年12月18日に開催された総会において、「2012年を『国際協同組合年』とする国連総会宣言」を採択した。これは、協同組合の認知度の向上、協同組合の成長、協同組合政策等の確立、などを提言したものである¹。これを受ける形で、わが国では、2010年8月4日に「2012国際協同組合年全国実行委員会」が発足している。この委員会では「協同組合の価値や、協同組合が現代社会で果たしている役割等について、広く国民に認知され、協同組合をさらに発展させる取り組みを行う²」としている。委員会の実行委員には、信用金庫、信用組合、労

* 日本福祉大学経済学部

1 2012国際協同組合年全国実行委員会（2012），p. 001.

2 「2012国際協同組合年全国実行委員会」のウェブサイト（<http://www.iyc2012japan.coop/committee/index.html>）より。

働金庫など、協同組織金融機関の業界の代表者も名を連ねている。これは、例えば信金についていえば、信金の存在意義を広く国民にアピールしていこうとしていることの表れだといえるであろう。

国際的にも、国内的にも、協同組合の役割が注目される中、2011年に信用金庫は1951年の信用金庫法制定から数えて60周年を迎えた。2011年9月29日に開催された「信用金庫法制定60周年記念全国大会」で採択された「宣言」では次のように述べている。

「これまで裾野金融に徹し、自らが根ざす地域社会との共生を実践してきた信用金庫は、今こそ、中小企業及び地域住民と手を携え、豊かで活力ある地域社会を構築すべく、その中核となって、相互扶助の精神と協同組織金融機関の特性を遺憾なく発揮すべきときである。

このため、われわれは、この記念すべき法制定60周年を契機に、顧客や地域社会とのより強固な絆、確かな信頼関係を構築し、中小企業の再生・創生と地域の持続的な発展をめざして、業界の英知と総力を結集し、全力を傾注していくことを、ここに宣言する。」³

これは、信金が協同組織金融機関としての特性を発揮して、中小企業のための金融機関、地域のための金融機関として、今後も活動を続けていくことを「宣言」したものである。

ところで、筆者はこれまで協同組織金融機関の存在意義について研究を重ねてきた。

谷地（2010）では、金融制度調査会や金融審議会等によって公表されてきたいくつかの報告書が、協同組織金融機関、とりわけ信用金庫と信用組合とを中小企業金融の担い手、地域金融の担い手として位置付けてきたことを確認した。

谷地（2011）では、信用金庫業界が信用金庫の存在理由や使命をどのようにとらえてきたのかを整理した。そこでは、業界が、中小企業専門金融機関、地域金融機関、会員制度一協同組織金融機関の3点が信用金庫の存在理由であり、独自性であるとしてきたこと、そして近年では、信用金庫が会員制度一協同組織金融機関であることを前提とした上で、地域金融機関としての性格を前面に押し出していることなどを明らかにした。さらに、業界は信用金庫の使命を中小企業の健全な発展、豊かな国民生活の実現、地域社会繁栄への奉仕の3点としてきたことも明らかにした。

筆者のこれまでの研究と同一線上にある本稿は、個別の信用金庫がどのような経営理念の下で、どのような地域貢献活動を行っているのかを、各信金のディスクロージャー誌によってみようとするものである。個別の信金の取組みをみるのは、行政や信金業界が信用金庫の存在意義をどのように捉えようとも、実際に会員（顧客、取引先）や地域社会と接して行動するのは各々の信金であることから、個別の信金がどのように行動しているのかを確認しておくことが必要であると考えるからである。ただし、本稿で取り上げられるのは、愛知県内に本店を置く信金のみである。

3 『信用金庫』第65巻第10号（2011年10月号）、p. 14.

本稿の構成は以下のようである。第2節ではディスクロージャー誌の法的根拠をみる。第3節ではディスクロージャー誌に掲げられた信金の経営理念を、続く第4節では信金の地域貢献活動をみる。第5節では信金と(第二)地方銀行の経営理念および地域貢献活動の比較と考察を行う。最後は、本稿の結論と残された課題について述べて、本稿を結ぶ。

2. ディスクロージャー誌

銀行法第21条は、「銀行は、事業年度ごとに、業務及び財産の状況に関する事項として内閣府令で定めるものを記載した当該事業年度の間事業年度に係る説明書類及び当該事業年度に係る説明書類を作成し、当該銀行の営業所(カッコ内省略―引用者)に備え置き、公衆の縦覧に供しなければならない。」と規定している。この規定に基づいて、銀行は中間期版と期末版の2種類のディスクロージャー誌(業務および財産の状況に関する説明資料)を作成・公表している。単体ベースの開示項目は銀行法施行規則第19条の2に、連結ベースの開示項目は同規則第19条の3に定められている。

信用金庫は、銀行法第21条を準用するとして信用金庫法第89条によって、ディスクロージャー資料を作成・公表しなければならない。単体ベースの開示項目は信用金庫法施行規則第132条に、連結ベースの開示項目は同規則第133条に定められている。また、それら以外にも、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条に基づく資産の査定、パーゼル(第3の柱)に基づく開示項目、任意の開示項目などがディスクロージャー誌には掲載されている。

信用金庫法施行規則第134条では、信金は、「作成した書面(カッコ内省略―引用者)の縦覧を当該金庫の事業年度経過後4月以内に開始し、当該事業年度の翌事業年度に係るそれぞれの縦覧書類の縦覧を開始するまでの間、公衆の縦覧に供しなければならない。」としている。ディスクロージャー誌は信用金庫の店舗に備え置かれているほか、ウェブサイトにも掲載されている。

次節以降では、本稿の関心に沿って、期末版としては本稿執筆時点において最新ある2011年3月期のディスクロージャー誌の内容をみていく。

3. 経営理念

経営理念は、組織の存在意義や組織が目指そうとする姿を表わすものと考えることができる。本節では、愛知県内に本店を置く信用金庫の2011年3月版ディスクロージャー誌から各信金の経営理念を取りあげて、信用金庫の存在意義や目指すべき姿について考えていく。ただし、ここでは、ディスクロージャー誌において「経営理念」とされているものだけでなく、「基本方針」「経営方針」「行動理念」「基本目標」「ごあいさつ」などの中から経営理念に相当するものも取りあげており、これらをまとめて「経営理念」と呼ぶことにする。

表1は信金の経営理念をまとめたものである。各信金の経営理念については、本稿末に掲載し

ている資料を参照されたい⁴。

「当金庫は地元産業の発展と社会の繁栄に真心をもって奉仕する」(岡崎), 「中小企業の金融機関として地元産業の健全なる成長発展に寄与する」(半田), 「中小企業並びに国民大衆の地域金融機関として地域経済振興のため貢献する」(碧海) など, 「地域経済・地域社会・地元産業の繁栄・発展」に貢献することを経営理念として掲げたのは13信金であった。

「タイムリーな情報や商品の提供等, お客さまのニーズに迅速かつ適切に対応していくことにより, 取引して良かったといわれる金庫として顧客満足度ナンバーワンをめざします」(いちい), 「取引先の繁栄に奉仕する」(瀬戸), 「中小企業のための専門金融機関として, 中小企業の堅実な育成発展に努め, また広く国民大衆のための地域金融機関として, その生活の向上……に貢献する」(西尾) など, 「会員(顧客, 取引先)志向」を経営理念に掲げた信金は12あった。

「従業員の生活向上と福祉の増進を図る」(愛知), 「従業員の幸福な生活を保証する」(蒲郡), 「職員の資質の向上をはかり人材を登用し, つねにその福利増進と生活向上に努力する」(中日) など, 12信金が「従業員尊重」を経営理念として掲げている。

「健全経営の確立」(知多), 「健全経営を堅持し, 自己資本の充実に努めます」(尾西), 「健全で効率的な経営に徹する」(瀬戸), など, 信金自らの「健全経営・効率的経営」を経営理念として掲げたのは8信金であった。

その他としては, 「中小企業金融を通じて日本経済の発展に貢献する」(愛知), 「地域社会と共に繁栄」という表現で自らも繁栄する(愛知), 「法令を遵守し社会的責任を遂行する」(瀬戸)などを経営理念に掲げる信金も存在した。

経営理念から, 信用金庫は従業員を大切にしながら自らの健全経営に努め, 地域の中小企業や住民など会員(取引先, 顧客)の繁栄, ひいては地域の産業・経済・社会の繁栄・発展に貢献しようとしていることがわかった。

表1 信用金庫の経営理念

地域経済・地域社会・地元産業の繁栄・発展	13	愛知 岡崎 いちい 瀬戸 半田 知多 豊川 碧海 西尾 蒲郡 尾西 中日 東春
会員(顧客, 取引先)志向	12	豊橋 岡崎 いちい 瀬戸 半田 豊川 豊田 西尾 蒲郡 尾西 中日 東春
健全経営・効率的経営	8	いちい 瀬戸 半田 知多 豊田 尾西 中日 東春
従業員尊重	12	愛知 いちい 瀬戸 半田 知多 豊川 豊田 西尾 蒲郡 尾西 中日 東春
その他	6	
日本経済の発展	1	愛知
自らの繁栄	3	愛知 半田 中日
社会的責任の遂行	2	瀬戸 尾西

(資料) 本稿末に掲載した資料に基づき筆者作成。

4 本稿末に掲載した資料の枠組みは, 鈴木(2008)の「表終-1」(p.188)を参考にして作成した。

4. 地域貢献活動

本節では、「従業員を大切にしながら自らの健全経営に努め、地域の中小企業や住民など会員（取引先、顧客）の繁栄、ひいては地域の産業・経済・社会の繁栄・発展に貢献しようとしている」信用金庫の地域貢献活動の取組みについてみていく。

表2は信金の地域貢献活動についてまとめたものである。ディスクロージャー誌自体は、信金の取組みのすべてを網羅して記載したものではない。したがって、個々の信金のディスクロージャー誌には当該信金の判断で記載することをしなかった活動もあるだろう。しかし、いくつかの信金の取組みを横断的にみることによって、信金の取組みのおおよその姿を理解することはできると考える。

表2 信用金庫の地域貢献活動

地域密着型金融の取組み	ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 事業再生支援 創業・新事業支援 経営改善支援 事業承継支援 中小企業に適した資金供給方法の徹底 動産担保・棚卸資産担保融資 シンジケートローン 私募債 地域経済への貢献 PFI事業への融資 地域貢献型預金・積金	
産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> 各種ローン 認定支援 各種助成金の紹介 産学官連携 M&Aの推進 経営相談・経営指導 情報提供 専門家の派遣 ビジネスマッチング 企業診断 各種セミナー 技術相談の取次 ビジネス交流会 	
人材育成	取引先	<ul style="list-style-type: none"> 若手経営者・後継者の育成 講演会 異業種交流会 地元中小企業の新入社員研修
	信金内	<ul style="list-style-type: none"> 大学院への派遣 研修制度の充実 中小企業大学校への派遣 自主研修会の開催 資格取得の支援
	地域個人	<ul style="list-style-type: none"> 創業塾 資産運用セミナー 起業家コンテスト インターンシップ 金融教育（小中高生）
文化・社会的貢献	<ul style="list-style-type: none"> コンサート開催・協賛 講演会開催 スポーツ大会開催・協賛 （年金・税務・法律など）相談会の開催 地域研究センターやまちなか活性化センター等への職員の派遣 レポート発行 認知症サポーターやサービス介助士の配置 献血活動 ロビー展開催 祭りなど地域の行事参加・協賛 ボランティア活動 相談会の開催 交通安全・防災キャンペーン AED設置 助成や表彰 寄付・義援金 旅行や観劇の会の開催 	
環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動 電気自動車・電動バイク等の使用 お客さまの環境に配慮した取組みを法人格付けに反映（中日） 「鳥インフルエンザ緊急相談窓口」設置（豊橋・豊川） 「ホタルの庭」設置（いちい） 環境に係わる寄付 植樹 「チャレンジ25」参加 	

（資料）本稿末に掲載した資料に基づき筆者作成。

信用金庫など地域金融機関は、恒久的な取組みとして地域密着型金融を推進している⁵。地域金融機関が取組むのは、ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化、事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底、地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献、の3点である。この～は、表2では「地域密着型金融の取組み」の欄に示されている。「地域密着型金融の取組み」の欄にある「事業再生支援」「創業・新事業支援」「経営改善支援」「事業承継支援」に係わる具体的な取組みは主として「産業振興/創業支援」の欄に、に係わる具体的な取組みは主として「人材育成」「文化・社会的貢献」「環境への貢献」の欄に記載されている。

信金の地域貢献活動の第1は経済的な側面、特に金融機関の本業である金融業務を通じた地域貢献である。預金者に対しては、例えば、環境貢献定期預金「木曾三川」や環境貢献型定期積金「舞はたる」(いちい)、地産地消をテーマにした定期積金「知多半島からの贈り物」(知多)、子育て支援定期積金「夢・未来」(東春)など、地域の環境、産業、家庭などに配慮した預金・積金商品を提供している。資金供給の側面では、例えば、「知多地域創業支援」(半田)、「経営改善融資『バックアップ』」(知多)、「棚卸資産担保融資制度」(豊田)、PFI事業への融資、シンジケートローン、私募債の受託などを通じて、会員(顧客、取引先)の資金ニーズに対応している。地域の中小企業への資金の供給は、地域の雇用を守っていくことに繋がるものである⁶。

信金の地域貢献活動の第2も経済的な側面であるが、金融業務ではなく、例えば「相談」「指導」などの言葉で表されるような取引先を支援する活動である(以下、「相談・支援業務」という)。信金は、経営相談・経営指導や企業診断、情報提供などを通じて自らがコンサルタント機能を発揮したり、外部の専門家を派遣したり、ビジネスマッチングの場を提供したりしながら事業再生や経営改善の支援をしている。また、産学官連携や技術相談の取次、各種助成金の紹介なども事業再生・経営改善支援に繋がるものである。若手経営者・後継者の育成(「人材育成」の「取引先」欄に記載)やM&Aの推進を通じて、信金は取引先企業の事業承継を支援している。起業家コンテストの開催や創業塾の開校(いずれも「人材育成」の「地域個人」欄に記載)、産

5 地域金融機関は、金融庁によるアクションプログラムの下、2003年4月から2年間に亘りリレーションシップバンキング機能を強化するための取組みを、その後2005年4月からの2年間はリレーションシップバンキングから地域密着型金融へと言葉を換えて、その機能を強化するための取組みを推進した。2003年4月に緊急時対応としてはじまったリレーションシップバンキング(=地域密着型金融)の取組みは、2007年4月以降は通常の監督行政のいわば恒久的な枠組みの中で推進されている。リレーションシップバンキングおよび地域密着型金融については、例えば、谷地(2007)、谷地(2008)を参照。

6 家森(2011)は、「協同組織金融機関に求められる役割と、生き残りの課題とが同じ」であり、協同組織金融機関が「目指すべきは、地域の中小企業に資金を提供し、地域の雇用を守っていくことである」と指摘している(p.11)。

また、斉藤・重頭(2010)は、欧州の「協同組合銀行は自らが安定的な雇用を提供する事業体であり、特に雇用の少ない農村部で貴重な就業機会を提供していると考えられる」と指摘している(p.207)。本稿第3節でみたように、健全経営を経営理念に掲げる信金は多い。信金が健全経営を維持することは、信金自らが地域に雇用機会を提供して地域の雇用を守るという形で地域への貢献に繋がるものである。

学官連携、助成金の紹介などは、創業・新事業を支援する活動である。

ところで、例えば、「中小企業大学の中小企業診断士養成講座への職員派遣」（豊橋）、「大学院修士課程への職員派遣」（同）、講座・研修会・自主研究会の開催など、「人材育成」の「信金内」の欄に記載された取組みは、信金職員の能力の向上を図るためのものである。これらは、金融業務（＝第1の地域貢献活動）および相談・支援業務（＝第2の地域貢献活動）を通じて地域への貢献度を高めるよう作用するものである。

地域貢献活動の第3は文化・社会的貢献である。これは、コンサートの開催・協賛、ロビー展の開催、旅行や観劇の会の開催、講演会の開催など芸術・文化活動の支援、祭りなど地域の行事への参加、スポーツ大会の開催・協賛などスポーツ振興の取組み、年金等の相談会の開催、「まちなか活性化センターへの職員派遣」（豊橋）、「多重債務者問題への対応」（尾西）⁷、交通安全・防災キャンペーン、レポート発行、さらには小中高生を対象とした金融教育の実施や大学生を対象としたインターンシップの実施（ともに「地域個人」の欄に記載）など、地域との関わりを深める活動、ボランティア、献血、認知症サポーターやサービス助士の店舗への配置など福祉活動、奨学金、寄付・義援金、地域の活動に対する助成や表彰、などからなっている。

地域貢献活動の第4は環境への貢献である。これは、清掃活動への参加や地域の環境に係わる寄付、節電活動などの他に、「鳥インフルエンザ緊急相談窓口」の設置（豊橋・豊川）や「ホテルの庭」の造園・開放・鑑賞会（いちい）⁸など、地域の必要・状況に応じた取組みなどである。

信用金庫は、本業を通じた地域貢献活動と本業以外の部分での地域貢献活動に取り組んでいることがわかった。前者は、預金や貸出といった金融業務を通じるものと相談や支援といったリレバン（地域密着型金融）行政において取組みの強化が求められたものである。後者は、文化・社会的な部分での貢献活動と環境への貢献活動である。

5. 信金と地銀の比較と考察

信用金庫と同じく地域金融の担い手である地方銀行について、ここでもやはり愛知県内に本店を置く（第二）地方銀行3行の経営理念（第3節で述べたような、広い意味での「経営理念」）と地域貢献活動について、2011年3月版のディスクロージャー誌によってみておこう⁹。3行それぞれの経営理念および地域貢献活動については、本稿末に掲載している資料を参照されたい。

7 尾西信用金庫は、「多重債務問題の解決に資する取組みを通じ健全な消費者金融市場の形成に寄与した金融機関」として、金融担当大臣より表彰を受けた（2011年6月）。

8 いちい信用金庫の「ホテルの庭」の造園・開放・鑑賞会は、「第14回信用金庫社会貢献賞」の特別賞を受賞した（2011年5月）。

9 滝川（2004）は、地方銀行のディスクロージャー誌から地方銀行の経営理念を、銀行の健全性と成長性、顧客本位、地域共栄、職員尊重、株主の満足、の5点に整理して、地銀は第1に地域共栄を目指していることがわかったとしている（p. 2）。

経営理念をみると、表現方法は様々であるが、地域社会の繁栄に貢献すること、健全経営に徹すること、そして顧客本位に徹すること、を3行共に掲げている。

本稿では、愛知県内に本店を置く信金と地銀のみを取りあげているという意味で分析の対象は限定されたものである。そのため、一般化することについては慎重であるべきであろうが、本稿で取りあげた金融機関の経営理念をみる限りにおいては、信金が目指そうとしている姿と地銀のそれとの間に大きな違いはみられない。

ただし、信金は相互扶助を理念とする協同組織金融機関であるが、これについてはその根拠法等によって明らかであるため、信金の経営理念にほとんど明示されていないことは指摘しておくなければならないだろう。地銀で「顧客」という場合は広く地域全体の（あるいはときとして地域を超えた）中小企業や住民であるのに対し、信金の「顧客」の多くは会員としての中小企業や住民であるという点で違いがあることも指摘しておく。

次に地域貢献活動をみると、取りあげたのが3行のみであるため具体的な事例は多くはないが、前節で示した信金の第1から第4の地域貢献活動の全てに地銀も取組んでいることがわかる。

ここでも一般化することについては慎重であるべきであろうが、少なくとも本稿で取りあげた愛知県内に本店を置く信金と地銀の地域貢献活動をみる限りにおいては、両者の活動内容に大きな違いはみられない。

金融業務を通じた地域貢献活動について1点指摘しておく。

本稿末に掲載した資料で預貸率をみると、信金の中では愛知信金が31.77%で最も低く、岡崎信金が58.02%で最も高くなっている。15信金の平均をとると48.74%となる。地銀の預貸率と比較して信金のそれが低くなっていることがわかる。

ディスクロージャー誌からは、これが信金の取引先の資金需要が少ないからなのか、信金の経営的な理由などから貸出を行うことができないからなのか、信金の取引先の多くが今は経営改善相談など資金供給以外の部分でのサポートに力を入れるべき時期、つまり現在は企業を、そしてその企業による将来の資金需要を育てる時期であるからなのか¹⁰、また、愛知県の各地域に他府県に本拠を置く地銀が進出してきたことにより顧客（の一部）が奪われていることを反映しているからなのか、これらの要因が重なり合っているからなのか、その原因を特定することはできない。

一般的に言えば、預貸率は低いよりは高い方が資金供給の側面で会員（顧客、取引先）や地域

10 家森（2011）は、「待っていては、優良な借り手は現れない。借り手がいないと嘆くのではなく、金融機関自らが、優良な借り手を育てていくことを最大の経営課題にすべきである。」「貸し出しは、企業を育てる支援手段の一つにすぎず、より幅広い支援態勢を構築しなければならない。」「金融機関の経営陣に、……リレーションシップをベースにした『育てる』金融への脱皮を図るべき、と提言したい。そのためには、それにふさわしい目利き力や金融手法を職員がマスターするなど職員の一層のレベルアップと、それを支援する本部の態勢の再構築が不可欠だろう。」など、協同組織金融機関は「『育てる』金融を担う組織」となることが必要であると述べている（p. 11）。

経済に貢献しているといえるであろう。しかし、相互扶助を理念とする協同組織金融機関である信金としては、例えば預貸率が低かったとしても、その貸出がどれだけ会員の経済活動や地域経済の発展に役立っているかという点が重要なのではないだろうか。もしそうだとすると、信金の金融業務がどれだけ会員や地域経済のために役立っているのか、地銀にはない特性があるとすればそれは何であるのか、などの点について、より明示的に示すことが必要である。

次に、地域金融機関として取組みの強化が求められている相談・支援業務を通じた地域貢献活動についても1点指摘しておく。

金融庁から取組みの報告を求められているということもあろうが、本稿末に掲載した資料で、「事業再生支援」「創業・新事業支援」「経営改善支援」「事業承継支援」、そしてその具体的な取組みを示した「産業振興/創業支援」の欄をみても、信金と地銀との違いはみえてこない。相互扶助を理念とする協同組織金融機関である信金だからこそ行うことができる取組みがあるのかなのか、もしあるとするならばそれは何なのか、そして既に地銀とは異なる取組みを行っているのであればそれはどのようなものであるのか、そして信金の相談・支援業務がどれだけ会員や地域経済のために役立っているのかなどを具体的に示すことが必要である。

最後に、文化・社会的貢献および環境への貢献である。本稿末に掲載した資料によって取組み内容を比べてみても、信金と地銀との間に大きな違いはみえない。これらの貢献活動は、金融機関に収益をもたらす業務に直結するものではないが、会員や地域社会との絆を強固なものとするためには欠かせない活動である。もしそうであるとするならば、株主の利益を追求しなければならない地銀と比較して協同組織金融機関である信金が相対的に強みを発揮できるのはこの点においてであるのかもしれない。文化・社会的および環境への貢献活動を通じて、信金と会員や会員以外の地域住民、そして地域社会との間に信頼関係を構築することができたならば、信金が彼らから支持される金融機関となることができ、そしてそれが取引へと発展していくことにより、将来的には信金に何らかの形で収益をもたらす可能性があることを指摘しておこう。

6. おわりに

本稿では、愛知県内に本店を置く信用金庫15庫と(第二)地方銀行3行を対象として、それらのディスクロージャー誌から経営理念と地域貢献活動を取りあげて考察を行った。ディスクロージャー誌を取りあげたのが18金融機関のみであるため、結論は暫定的なものとならざるを得ない。しかし、全ての信金と地銀のディスクロージャー誌を取りあげたとしても、おそらく結論が大きく変わることはないのではないかと考えている。

本稿から得られた結論は以下のようなものである。

(1) 経営理念は組織の存在意義や組織が目指そうとする姿を表わすものである。信金は相互扶助に基づく協同組織金融機関であることを自明のものとするのではなく、経営理念にそれを明示すること、そして、協同組織性を信金の活動にどのように活かしていこうと考えているのかを示

す必要がある。

(2) 信金の金融業務を通じる地域貢献については、単純に預貸率の高低では捉えきれないと考える。すなわち、貸出がどれだけ会員の経済活動や地域経済の発展に役立っているかという視点がなければならない。信金の金融業務がどれだけ会員や地域のために役立っているのか、地銀にはない特性があるとすればそれは何であるのか、などの点について、より具体的に示す必要がある。

(3) 相談・支援業務を通じた地域貢献活動についても、ディスクロージャー誌をみる限り、信金と地銀の相違は明確でなかった。したがって、信金だからこそ行うことができる相談・支援業務があるのか否か、もしあるとするならばそれはどのようなものであるのか、既に信金が地銀とは異なる取組みを行っているのであればそれはどのようなものであるのか、そして信金の相談・支援業務がどれだけ会員の育成や地域経済の発展のために役立っているのか、などを具体的に示す必要がある。

(4) 文化・社会的貢献および環境への貢献についても、信金と地銀との間に違いはなかった。これらの貢献活動は、金融機関の収益業務に直結するものではないが、地域との絆を強固なものとするためには欠かせない活動である。したがって、地銀と比較して信金が相対的に強みを発揮できるのはこの点においてであるかもしれない。このような貢献活動を通じて信金と会員（や会員以外の地域住民）との間に信頼関係を築くことができたならば、その関係がやがて信金に収益をもたらす業務に繋がる可能性はあるだろう。

信用金庫に必要なのは、協同組織性を活動にどのように活かしていきたいと考えているのかを経営理念の中に明示すること、そしてそれを具体的な行動で表わすこと、である。具体的な行動で表すとは、本業である金融業務や相談・支援業務においてはもちろん、文化・社会的貢献活動や環境への貢献活動においても、協同組織性のメリットを具体的にどのように活用しているのか、あるいはこれからどのように活用していこうとしているのかを明示して地銀との差別化を図っていかなければならない、ということである。会員や地域社会によって信金の姿勢や取組み内容が肯定的に評価されてはじめて、信金は彼らから支持される金融機関となることができ、その存在意義を広く国民に対してアピールすることができる、と考える。

本稿は、愛知県内に本店のある18金融機関だけしか取りあげていないという弱点の他に、ディスクロージャー誌以外の情報源を用いていないという弱点もある。2つの意味で分析の対象を広げることについては今後の課題としたい。

最後に、結論の(2)と(3)とに係わって、信金の金融業務や相談・支援業務が、例えば、地銀と比較してどれくらい顧客や地域経済のために役立っているのかなどを客観的に捉えて示すための指標が必要なのではないかと考えているが、指標開発の試みについても今後の研究課題としたい。

参考文献

- 斉藤由理子・重頭ユカリ (2010) 『欧州の協同組合銀行』日本経済評論社.
- 鈴木真人 (2008) 「地域貢献と信用金庫の行方」 関満博・鈴木真人編 『信用金庫の地域貢献』新評論, 終章, pp. 187-200.
- 全国大学生協共済生活協同組合連合会編 (2012) 『2012・協同組合 国際協同組合年によせて』日本生活協同組合連合会出版部.
- 滝川好夫 (2004) 「なぜ地域金融機関は地域貢献活動を行うのか」 『神戸大学経済学研究年報』 51, pp. 1-16.
- 2012 国際協同組合年全国実行委員会編 (2012) 『協同組合憲章 [草案] がめざすもの』光の家協会.
- 谷地宣亮 (2007) 「地域金融機関と地域密着型金融」 『日本福祉大学経済論集』 第 34 号, pp. 47-71.
- 谷地宣亮 (2008) 「リレーションシップバンキング推進のための課題」 『日本福祉大学経済論集』 第 36 号, pp. 73-91.
- 谷地宣亮 (2010) 「信用金庫・信用組合の存在意義に関する一考察 金融制度調査会および金融審議会の報告書を中心に」 『日本福祉大学経済論集』 第 40 号, pp. 161-182.
- 谷地宣亮 (2011) 「信用金庫の存在理由に関する考察 信用金庫業界が策定した長期経営計画を中心に」 『日本福祉大学経済論集』 第 42 号, pp. 81-103.
- 家森信善 (2011) 「協同組織金融機関の現状と課題 『育てる』金融で将来への布石を」 『月刊金融ジャーナル』 第 52 巻第 8 号 (2011 年 8 月号), pp. 8-11.

資料 愛知県に本店を置く信用金庫と（第二）地方銀行の地域貢献活動等

愛 知 信 用 金 庫	自己資本比率	13.87%	
	預貸率	31.77%	
	預証率	41.98%	
	経営理念	<p>経営の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済の発展に貢献 中小企業金融を通じて日本経済の発展に貢献する。 ・地域社会と共に繁栄 顧客に対しては常に誠実を以て奉仕し、地元産業の繁栄と共に栄える。 ・生活向上と福祉の向上 従業員の生活向上と福祉の増進を図る。 	
	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再生 企業支援先 59 先、事業改善計画策定先 48 先（うちランクアップ先 2 先） ・創業・新事業支援 保証協会の活用により、6 先（23 百万円） ・経営支援 景気対策緊急保証制度の活用により、144 先（16 億 2 千万円） ・事業承継への支援 中小企業に適した資金供給方法の徹底 あいしん創業支援特別ローン あいしん企業活性化ローン 名古屋商工会議所ローン 商工会会員特別ローン 特別事業者資金 合計 80 百万円の融資 地域経済への貢献 あいしん緑化定期預金「緑をふやそう」 	
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「中小企業会計啓発・普及セミナー」開催 ・「しんきんビジネスマッチング」（「ビジネスフェア 2010」）に参加 	
	人材 育成	取引先	・あいしん経営者の会
		信金内	
		地域個人	
	文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「園頓寺七夕まつり」参加 ・「にっぽんど真ん中祭り」協賛 ・あいしん倶楽部・年金友の会（1泊2日の旅） ・あいしん文化講演会 ・和紙ちぎり絵作品展・無料体験 ・「大須観音節分会の豆まき」参加 ・振り込め詐欺防止キャンペーン 	
環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・東山動物園のユーカーリ育成に寄付 ・「チャレンジ 25」参加 		
豊 橋 信 用 金 庫	自己資本比率	15.17%	
	預貸率	47.62%	
	預証率	38.53%	
経営理念	<p>基本方針</p> <p>地域社会の中小企業 ならびに一般大衆に 信用され 頼られ 愛される 金融機関となる</p>		
地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援 		

豊 橋 信 用 金 庫		<p>融資取組み実績 (5件 133百万円) 新連携計画認定支援 1件 技術相談等取次 17件 専門家派遣 10件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援 経営改善支援取組先 230件 (うちランクアップ先 25先) ・事業再生 ビジネスマッチング成約 2件 ・事業承継 中小企業に適した資金供給方法の徹底 ABL 2件 (120百万円) シンジケートローン 6件 (1,639百万円) 地域経済への貢献 PFI 事業への融資 1件 (1,364百万円) 						
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携の認定支援 ・中小企業基盤整備機構の新連携の認定支援 ・名古屋大学, 豊橋技術科学大学に寄附講座 ・豊橋技術科学大学への技術相談等の取次 ・豊橋商工会議所ビジネスサポートセンターやあいち中小企業応援センターなどを通じて専門家派遣や技術相談の取次 ・「しんきんビジネスマッチング」(「ビジネスフェア 2010」) 参加 ・信金キャピタル㈱等との連携の強化による M&A 業務の推進 						
	人材育成	<table border="1"> <tr> <td>取引先</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信金内</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業大学の中小企業診断士養成講座への職員派遣, 資格取得 ・豊橋創造大学大学院修士課程への職員派遣 ・外部派遣講座への職員派遣 </td> </tr> <tr> <td>地域個人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で金融教育に関する出前授業 </td> </tr> </table>	取引先		信金内	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業大学の中小企業診断士養成講座への職員派遣, 資格取得 ・豊橋創造大学大学院修士課程への職員派遣 ・外部派遣講座への職員派遣 	地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で金融教育に関する出前授業
	取引先							
信金内	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業大学の中小企業診断士養成講座への職員派遣, 資格取得 ・豊橋創造大学大学院修士課程への職員派遣 ・外部派遣講座への職員派遣 							
地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で金融教育に関する出前授業 							
文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・(社)東三河地域研究センターに職員を派遣 ・(株)まちなか活性化センターに職員を派遣 ・豊橋商工会議所に職員を派遣 ・AED の設置 ・「善意フェスティバル 2010」にボランティアとして参加 ・「豊橋祭り『総おどり』」, 「ええじゃないか豊橋パレカ」参加 ・「認知症サポーター」配置 ・「とよしん『ふれあいコンサート』」開催 ・地元企業に対する景気動向等をアンケート調査し公表 ・「とよしん講演会」開催 ・とよしん年金友の会旅行 ・よとしんパスポートクラブ旅行 							
環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝倉川育水フォーラム活動」参加 ・「豊橋市の緑化推進フェスティバル (『花交流フェア 2010』)」に花壇を出展 ・「530 (ゴミゼロ) 運動」参加 ・「鳥インフルエンザ」相談窓口の設置 ・環境配慮型店舗 (太陽光パネル付 LED 外灯の設置など) ・電動バイクの導入 							

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

岡 崎 信 用 金 庫	自己資本比率 預貸率 預証率	14.98% 58.02% 40.99%	
	経営理念	基本方針 当金庫は地元産業の発展と社会の繁栄に真心をもって奉仕する 長期ビジョン 「信用第一，地域一番の金融機関」を目指します	
	地域密着型 金融の取組み	ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 ・事業再生支援 ・創業支援融資の推進 ・産学官連携による経営支援 ・M&A ・事業承継支援 ・各種助成金の紹介 中小企業に適した資金供給方法の徹底 シンジケートローン (22,138 百万円) 私募債 (3,365 百万円) 地域経済への貢献 PFI 事業への支援	
	産業振興 / 創業支援	・「おかしんアグリ塾」 ・「しんきん環境事業イノベーション寄附講座」(名古屋大学大学院環境学研究所) ・「おかしん海外ビジネス交流会」 ・ビジネスマッチング(「ビジネスフェア 2010」)に参加	
	人材 育成	取引先	・「おかしん経営塾塾生会」 ・「フレッシュマンスキルアップ研修」開催 ・「おかしん経済講演会・異業種交流会」
		信金内	・おかしんカレッジ(土曜講座) 情報開示内部研修会 金融講座 認知症サポーター養成講座 中小企業の総務・経理実務講座 不動産担保実務講座 証券外務員試験勉強会 金融法務の基礎講座 など
		地域個人	・「得するまちのゼミナール～親子教室！お金のヒミツ～」
	文化・社会的 貢献	・「岡崎信用金庫資料館」(1階：市民ギャラリー，2階：貨幣展示室)を無料開放 ・「岡崎ジャズストリート」のコンサート会場の提供 ・「岡崎市民駅伝競走大会」参加 ・「小学生自然観察会」開催 ・献血活動 ・「岡崎市内ミニバスケットボールチームクリニック」開催 ・「おかしん講演会」 ・見本市「メッセナゴヤ 2010」に出展 ・「健康づくり講演会」 ・「調査月報」，PR 誌「おかしん」，「おかしんマーケット・レポート」の発行	
	環境への貢献	・屋上緑化 ・エコランプや LED 照明の導入 ・清掃活動	

	自己資本比率 預貸率 預証率	10.56% 44.02% 34.38%
い ち い	経営理念	<p>経営理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献度ナンバーワンをめざします 地域の中小企業の支援・育成や個人取引の強化を通じて地域社会の再生・活性化を図っていくことにより、地域社会に確固たる基盤を築き、頼りになる金庫として地域貢献度ナンバーワンをめざします。 ・健全経営ナンバーワンをめざします 経営基盤を拡大しつつ、コンプライアンス態勢を確立するとともに各種リスク管理体制の強化や更なる経営の効率化を推し進め、様々な変革に対応できる強靱な経営体質を構築することにより、安心して取引のできる金庫として健全経営ナンバーワンをめざします。 ・顧客満足度ナンバーワンをめざします タイムリーな情報や商品の提供等、お客さまのニーズに迅速かつ適切に対応していくことにより、取引していて良かったといわれる金庫として顧客満足度ナンバーワンをめざします。 ・人材の豊かさナンバーワンをめざします 教育訓練の強化により人材の育成に努め、将来の発展を担う人材の豊かさでナンバーワンをめざします。また、活力に満ちた働きがいのある金庫をめざします。
	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <p>「いちいチャレンジファンド」創設 = 日本銀行の新貸付制度（成長基盤強化を支援するための資金供給）を利用したファンド（22件 2,045百万円）</p> <p>中小企業に適した資金供給方法の徹底</p> <p>創業支援ローン 5件（15百万円） ふれあい事業者ローン 12件（61百万円） シンジケートローン 21件（1,450百万円）</p> <p>地域経済への貢献</p> <p>環境貢献定期預金「木曾三川」 環境貢献定期積金「舞ほたる」</p>
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいち中小企業応援センター」の支援機関として愛知県中小企業団体中央会等と連携し、中小企業者等からの経営相談への対応や専門家派遣を実施 ・各種セミナー アグリビジネス 新連携・地域資源活用・農商工連携 女性経営者セミナー IT 実践研修会 海外ビジネス ・「ビジネスマッチングフェア 2010」への参加
信 用 金 庫	取引先	・次世代クラブ
	信金内	<ul style="list-style-type: none"> ・目利き能力向上のための研修や指導 ・「業種別自主研究会」 ・「自習室」設置
	地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・「いちい創業塾」 ・「起業家応援フェア」 ・「高校・高専生！わがまちビジネスアイデア・コンテスト」 ・小・中学生の「金融教室」
	文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による相談サービス 年金相談 税務相談 法律相談 相談センター ・「お菓子フェア」開催 ・講演会 ・交通安全・防犯キャンペーン ・七夕祭り「ワッショ-いちのみや」参加

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

		<ul style="list-style-type: none"> ・「いっしん育英会」奨学金 ・親子民話教室 ・「尾張地方の戦国史跡ウォーク」 ・一宮市総合体育館のネーミングライツ取得 ・音楽部「アンサンブルいちい」慰問演奏 ・ゲートボール大会 ・「いちいホール」「ホワイエ」を文化活動の場として提供 ・「ふれあいクラブ」(観劇会や旅行会) ・「景況レポート」発行 	
	環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・国営木曽三川公園に「ヤマモモの苗木」を寄付・植樹 ・エコキャップ運動の推進 ・本店隣地に「ホタルの庭」を造園 ・清掃活動 	
瀬 戸 信 用 金 庫	自己資本比率	14.91%	
	預貸率	50.36%	
	預証率	36.09%	
	経営理念	<p>基本方針</p> <p>法令を遵守し社会的責任を遂行する 地域社会の発展に貢献する 取引先の繁栄に奉仕する 健全で効率的な経営に徹する 職員の幸福を増進する</p>	
	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再生 経営改善支援の対象先 120 先を選定 改善計画書作成 57 先 (うち 4 先ランクアップ) 中小企業に適した資金供給方法の徹底 地域経済への貢献 	
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・経営相談会 ・瀬戸市主催「せと・しごと塾」への参画 創業支援 (事業計画作成知識のカリキュラム等を担当) ・経営力強化セミナーを共催 ・海外ビジネスセミナーを開催 ・「ビジネスフェア 2010」に参加 ・経営革新セミナーを開催 	
	人材 育成	取引先	・せとしんビジネススクール
		信金内	・「振り込め詐欺」被害防止訓練
		地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ ・中学生の職場見学・体験
文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・献血活動 ・「堀川フラワーフェスティバル 2010」に協賛 ・「せとしんすみれカップジュニアサッカー大会」開催 ・「瀬戸信用金庫旗争奪ゲートボール大会」開催 ・「瀬戸 & 上海ジョイントコンサート」助成 ・ギャラリーで「瀬戸陶芸協会展」開催 ・「亀井勝 陶芸展」助成 ・「ふじおか紅葉まつり」と「藤岡歌舞伎」の上演を助成 ・講演会 		
環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・すみれの苗の贈呈 ・清掃活動 		

		<ul style="list-style-type: none"> ・「せと・まるっと 530 (ゴミゼロ) 大作戦」に協働 ・生ゴミを再利用して作ったたい肥を無料配布 ・「堀川ウォーターマジックフェスティバル」に協賛 ・「COP10 香流川生物調査」を助成
	自己資本比率	10.13%
	預貸率	44.31%
	預証率	41.05%
	経営理念	<p>基本方針</p> <p>中小企業の金融機関として地元産業の健全なる成長発展に寄与する。 会員並びに顧客の豊かな生活の実現に貢献する。 地域社会の繁栄と地域経済の振興に協力する。 従業員とその家族の生活の向上と福祉の増進につとめる。</p> <p>経営理念</p> <p>地域密着：地域に密着し、地域の皆さまとともに繁栄します。 人間性尊重：人材育成を通じて地域の信頼感、期待感にお応えします。 健全性と発展性：堅実経営に徹し、地域とともに繁栄します。</p>
半田信用金庫	地域密着型金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再生 企業支援先 35 先選定 (うち 28 先で再生計画を策定, ランクアップ 2 先) ・創業・新事業支援 知多地域創業支援 4 先 (11,400 千円) 創業・新事業先 6 先 (32,500 千円) ・経営改善支援 経営診断 1 先 あいち中小企業応援センターの専門家派遣 2 先 ・中小企業支援センター等の相談機能等活用 大府中小企業センターへの資金協力 (2,500 千円) 中小企業に適した資金供給方法の徹底 TKC ローン 3 件 (21,000 千円) 棚卸動産担保融資 2 件 (26,000 千円) 地域経済への貢献 はんしんサポートローン 18 件 (63,060 千円) 老人介護事業等への融資 1 件 (90,000 千円) カードローン「きゃっする」(アルバイト, 主婦でも取り扱い可能)
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「はんしんサクセスクラブ」 ・「知って得するはんしんセミナー」開催 ・ビジネスマッチング成約 13 先 ・経営計画策定支援セミナー
	人材育成	取引先
		信金内
		<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士, ファイナンシャルプランナーなどの資格取得 ・年金アドバイザー ・目利き研修へ派遣 ・福祉講座 (NPO 法人への融資を含めた支援を推進する。そのために NPO 法人より講師を招く。)
		地域個人
		<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ ・中高生の職場体験学習
	文化・社会的貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・半田市中心市街地活性化協議会のメンバー ・「メイドイン知多半島」(商品カタログ)の作成費用の協力と商品選定メンバーとして参加

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

		<ul style="list-style-type: none"> ・休日相談会（ローン、年金、事業者） ・「はんしんこどもまつり」開催 ・献血活動 ・「はんだふれあい産業まつり」に出店 ・日本福祉大学で講義（「地域金融」のゲスト講師） ・地域の祭礼（山車まつり）の応援 ・交通安全街頭キャンペーン ・講演会 ・落語会 ・AED 設置 	
	環境への貢献	・清掃活動	
知 多 信 用 金 庫	自己資本比率	10.99%	
	預貸率	55.69%	
	預証率	33.98%	
	経営理念	<p>「ごあいさつ」より「基本方針」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献の追求 ・健全経営の確立 ・人材育成と職場環境の充実 	
	地域密着型金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <p>知多地域創業支援特別融資</p> <p>事業性融資この町ローン「絆」</p> <p>経営改善融資「バックアップ」</p> <p>ちたしんエコライフローン「ちたしん地域活性化ファンド」</p> <p>中小企業に適した資金供給方法の徹底</p> <p>地域経済への貢献</p> <p>地産地消をテーマにした定期積金「知多半島からの贈り物」</p> <p>子育て支援定期積金「キッズ応援団“はっピースマイル”」</p> <p>中部国際空港開港記念定期預金「青ぞら」</p>	
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中部大学との産学連携協定 ・あいち中小企業応援センターの「専門家派遣事業」の利用促進、費用の一部助成 ・しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2010」参加 	
	人材育成	取引先	
		信金内	
	地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ ・小学校で金融教育 	
	文化・社会的貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興支援制度「夢サポート」 ・「チャリティーゴルフ大会」 ・文化講演会 ・「ちたしんキッズ応援団サマースクール」開催 ・「アイアンマンレース」にボランティアとして参加 ・「半田ふるさと検定」を約 280 名の役職員が受験 ・「ちたしん地元応援券」を定期預金の懸賞品としてプレゼント ・献血活動 ・寄付・義援金 ・「ちたしん地域経済レポート」発行 	
環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 取得 ・清掃活動 ・本店ビルに「緑のカーテン」を設置 ・太陽光発電による LED 街路灯の設置 ・エコ定期預金「涼み」 		

	自己資本比率 預貸率 預証率	11.33% 52.94% 32.97%	
豊川信用金庫	経営理念	<p>基本理念 (略) 信用金庫のビジョンである 中小企業の健全な発展をはかる。 豊かな国民生活の実現に協力する。 地域社会の発展に奉仕する。 を基本理念として、協同組織による地域金融機関たる精神に徹してまいりました。 (略)</p> <p>経営理念 相互扶助の精神に基づき、「誠意」と「創意」と「熱意」で地域社会との「信頼」を築き、コミュニティ・バンクのリーダーをめざす。</p> <p>行動理念 顧客志向 地域社会への貢献 価値創造 職務の実践 人間尊重 (職員の豊かさを求める)</p>	
	地域密着型金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援 経営改善支援取組先 574 先 (うちランクアップ 23 先) 中小企業に適した資金供給方法の徹底 パートナープラス しんきん ME サポートローン (動産の活用) 地域経済への貢献 	
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「かわしんビジネス交流会」 ・「企業診断サービス」(中小企業診断士と共に) ・「しんきん中小企業応援センター」を通じた情報提供、専門家派遣、セミナー開催など 	
	人材育成	取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・「かわしん経営塾 2010」 ・経営革新セミナー ・豊川信金ニュービジネスクラブ「実践経営セミナー」
		信金内	
地域個人		<ul style="list-style-type: none"> ・「かわしんキッズ・マネースクール」 	
文化・社会的貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・ロビーでの絵画等作品展 ・「豊川手筒まつり」「市民総おどり」「豊橋まつり」参加 ・「豊川シティマラソン」協賛 ・「豊川市長旗争奪ゲートボール大会」後援 ・「豊川市グラウンドゴルフ協会長杯争奪大会」協賛 ・「がんを知る」セミナー ・かわしん旅行友の会 ・相談コーナー (休日相談プラザ、かわしん土曜相談プラザ、かわしん日曜相談プラザ) ・講演会 ・献血活動 ・寄付・義援金 ・かわしんレポート「ふれあい」発行 	
環境への貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙運動 ・「チャレンジ 25 キャンペーン」参加 	

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動 ・「鳥インフルエンザ緊急相談窓口」設置 	
豊 田 信 用 金 庫	自己資本比率 預貸率 預証率	14.36% 51.38% 29.68%	
	経営理念	<p>経営理念 豊田信用金庫は、地域の皆様にお役に立つコミュニティ・バンクを目指し、「貢献」「健全」「幸福」を経営理念として、地域にあって地域とともに歩んでまいります。</p> <p>基本姿勢 お客様とふれあい お客様と考え お客様と歩む</p> <p>基本目標 健全経営の徹底 経営基盤の拡充 人材（財）の育成</p>	
	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 「創業支援資金」 「とよしん商工会議所提携ローン」 「とよしんビジネスローンサポート」 「とよしんアグリビジネスローン『みのる君』」 中小企業に適した資金供給方法の徹底 「とよしん機械担保ローン」 「棚卸資産担保融資制度」 地域経済への貢献 「地域経済活性化サポート資金」 = 日本銀行の新貸付制度（成長基盤強化を支援するための資金供給）を利用したファンド</p>	
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士による経営相談・経営診断 ・中小企業診断協会と連携した経営指導 ・とよしん財務診断サービス 	
	人材 育成	取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・とよしんエグゼクティブクラブ ・取引先新入社員研修会
		信金内	
		地域個人	
	文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊田おいでんまつり」参加、花火提供 ・ゲートボール大会、インディアカ大会などへの協賛、参加 ・「とよしん少年サッカー大会」主催 ・「イルミネーション・ストーリーとよた」協賛 ・「産業展とよた 産業フェスタ」参加 ・相談（年金、資産運用、財務、税務、金融円滑化など） ・奨学金事業（中・高校生） ・表彰（教育文化賞、教育文化奨励賞） ・助成（教育及び文化活動の維持発展に功績があるもの） 	
	環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコアクション 21」 ・環境美化運動 ・ECO 通勤 	

碧 海 信 用 金 庫	自己資本比率 預貸率 預証率	19.72% 56.46% 32.13%
	経営理念	基本方針 中小企業並びに国民大衆の地域金融機関として地域経済振興のため貢献する。
	地域密着型 金融の取組み	ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 経営改善支援先 147 先 創業支援融資 101 件 経営相談 489 件 M&A 相談 11 件 事業再生先検討先数 18 件 中小企業に適した資金供給方法の徹底 動産・債権譲渡担保融資, ABL 1 件 地域経済への貢献 地域スタンプ事業 満貼台紙取次枚数 96,119 枚 プレミアム商品券入金取次枚数 683,966 枚 子育て家庭優待事業特典付き定期積金 地域成長事業支援ファンド
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決支援 各種計画策定 調査・分析 各種シミュレーション策定 情報提供支援 ビジネスマッチング等の情報提供支援 業界動向調査 創業支援 創業計画の策定 新事業進出 (第二創業支援も含む) 業界動向調査 「愛知5しんきん中小企業応援センター」(経営相談, 専門家派遣, セミナー開催) 「中小企業支援ネットワーク強化事業」参加 海外事業支援チームの新設
人 材 育 成	取引先	・人材教育支援
	信金内	<ul style="list-style-type: none"> 新入職員研修 (年 20 回以上) 職能別研修, 階層別研修, 土曜勉強会 (自由参加型) など 得意先係ロールプレイング大会
	地域個人	<ul style="list-style-type: none"> 「へきしん 夏休み子ども金融教室」 インターンシップ
文化・社会的 貢献		<ul style="list-style-type: none"> 「日本乳がんピンクリボン運動」の応援 年金プレゼント (授産施設で刺繍をしたトレッキングタオル) 盲導犬育成の応援 相談業務 安城市「まちの教室」事業への参加 「へきしん×FC刈谷 親子ふれあいサッカー教室」協賛 振り込め詐欺防止キャンペーン 講演会 交通安全キャンペーン ボランティア 緑の募金 ロビー展開催 「安城風あげ大会」参加 「安城七夕まつり」参加 「岡崎ジャズストリート」に協賛 義援金・寄付 チャリティーバザー

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

	環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコアクション 21」 ・環境関連への寄付 ・清掃活動 ・三河線沿線クリーン大作戦 ・エコキャップの回収 ・電動バイク導入 ・太陽光発電設備や小型風力発電の街灯の設置など 					
	自己資本比率 預貸率 預証率	21.31% 48.03% 40.01%					
西 尾 信 用 金 庫	経営理念	<p>基本方針 中小企業のための専門金融機関として、中小企業の堅実な育成発展に努め、また広く国民大衆のための地域金融機関として、その生活の向上と地域経済の健全な振興発展に貢献する。</p> <p>経営方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 郷土の発展となるか 2. 会員（得意先）の繁栄となるか 3. 金庫の隆昌を来たし職員の生活安定となるか 					
	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 ビジネスマッチング成約 92 件 「にししん創業支援資金」 創業・新事業資金の融資 38 件 経営改善計画書の作成 115 先（うち 2 先ランクアップ） 中小企業に適した資金供給方法の徹底 地域経済への貢献 「成長事業応援特別資金」 「油ヶ淵水質浄化応援定期預金」 「新西尾市誕生記念スーパー定期預金」</p>					
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善策のアドバイス ・経営相談 ・財務面のアドバイス ・しんきんビジネスマッチング「ビジネスマッチング 2010」開催 ・経営相談・情報提供のための講演会、研修会 ・M&A の提案と専門家の紹介 ・海外視察ミッションの開催 ・にししん海外ビジネスセミナーの開催 ・公的制度の認定支援 					
	人材 育成	<table border="1"> <tr> <td>取引先</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「にししん経営塾 21」 ・「お取引先企業の新入社員」に対するビジネスマナー研修 </td> </tr> <tr> <td>信金内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域個人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・起業家コンテスト（高校生） ・資産運用セミナー ・小学校「金融教育」講座 </td> </tr> </table>	取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・「にししん経営塾 21」 ・「お取引先企業の新入社員」に対するビジネスマナー研修 	信金内		地域個人
取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・「にししん経営塾 21」 ・「お取引先企業の新入社員」に対するビジネスマナー研修 						
信金内							
地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家コンテスト（高校生） ・資産運用セミナー ・小学校「金融教育」講座 						
	文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビー展 ・サークル活動支援 ・年金・各種ローン・資産運用・事業資金休日無料相談会 ・献血活動 ・「吉良花火大会」「西尾まつり」など協賛 ・西尾市歴史民俗資料館建設基金として寄付 ・「にししん年金友の会」の年金ツアーの協賛 					

		<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー教室，サッカー大会開催 ・ボランティア ・講演会 ・電動式福祉車両の寄贈 ・寄付，義援金 ・運営費助成活動 ・AED 設置
	環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動 ・LED 照明の導入 ・電気自動車・電動バイク・電動自転車の使用 ・エコキャップ推進運動
蒲 郡 信 用 金 庫	自己資本比率 預貸率 預証率	16.64% 50.18% 31.64%
	経営理念	<p>基本方針 地域社会と産業の発展をはかり 会員・得意先の繁栄につとめ 従業員とその家庭を明るくする。</p> <p>経営理念 1. 質の良い資金を豊富に安定的に供給し，新時代にマッチした多様なサービスを提供することによって，地域社会の発展や地元の繁栄に貢献する。 2. 従業員の幸福な生活を保証する。 3. 会員の期待にこたえる。</p>
	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 成長事業応援ファンド 58 件 (3,556 百万円) 創業支援ローンをはじめとする創業支援向け融資 55 件 (1,471 百万円) 政府系金融機関との連携による協調融資等 11 件 (168 百万円) 中小企業に適した資金供給方法の徹底 地域経済への貢献</p>
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書作成セミナー ・中小企業診断士派遣による経営診断 (無料) ・経営改善支援 ・東三河ビジネスポータルサイトを開設・運営 (蒲郡商工会議所と) ・愛知 5 しんきん中小企業応援センター事業の推進 ・経営革新セミナー 事業承継セミナー IT 活用セミナー ・財務分析レポート作成，中期経営改善計画書の作成サービス (無料) ・経営改善取組み先の経営者との面談，説明・アドバイス ・しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2010」参加 ・がましんニュービジネスクラブ
	人材 育成	取引先
信金内		<ul style="list-style-type: none"> ・資格の取得や研修制度の充実 ・長期外部派遣研修 中小企業診断士育成 (14 人) 外国為替 (海外) (2 人) 外国為替 (国内) (26 人) FP 養成 (141 人) 信託業務 (3 人) 信金経営研究 (1 人) 余資運用力強化トレーニー (2 人) 信用金庫調査実務研修 (1 人) ・土曜勉強会
	地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・出張講座「子ども金融教育」 ・インターンシップ
	文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・法律，税務，年金，休日ローン相談 ・「がましん『暮らしの学校』」

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

		<ul style="list-style-type: none"> ・蒲信育英会 ・地元プロバスケットボールチームの支援 ・ゲートボール大会の開催 ・献血活動 ・「岡崎 家康公検定」にチャレンジ ・「愛知県安全なまちづくり・交通安全パートナーシップ企業」に登録 ・年金友の会旅行 ・講演会 ・義援金 ・景気動向調査 					
	環境への貢献	・清掃活動（「三河湾浄化推進運動」参加）					
	自己資本比率 預貸率 預証率	8.81% 43.83% 31.32%					
尾 西 信 用 金 庫	経営理念	<p>経営理念 尾西信用金庫は、昭和26年（1951年）の創立以来、一貫して“地域社会の発展に貢献する”ことを理念とし、信頼される金融機関を目指して充実したサービスの提供に努めています。</p> <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業金融を通じて、社会的責任を果たし、地域経済と会員の繁栄に貢献します。 ・健全経営を堅持し、自己資本の充実に努めます。 ・役職員の生活向上と福祉の増進を図ります。 					
	地域密着型金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 ビジネスマッチングの活用 10件 経営相談 105先 専門家派遣実施 37件 産学連携を活用した相談 5件 創業・新事業支援融資 3件（44百万円） 経営改善支援取組 40先（うちランクアップ 4先） 中小企業に適した資金供給方法の徹底 売掛債権担保融資 2件（17百万円） 地域経済への貢献</p>					
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「びしん中小企業支援センター」で相談業務 ・販路・取引先拡大支援 ビジネスマッチングおよびびしんきんビジネスフェアへの参加支援 ・新製品・技術開発支援 中部大学研究支援センターを通じて専門家や研究者を紹介 公的機関を通じて他大学等の専門家を紹介 ・事業継承・経営者支援 IT経営者研修会 各種セミナー、研修会 					
	人材育成	<table border="1"> <tr> <td>取引先</td> <td>・「びしん経営塾 21」</td> </tr> <tr> <td>信金内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域個人</td> <td>・金融教育活動（中学）</td> </tr> </table>	取引先	・「びしん経営塾 21」	信金内		地域個人
取引先	・「びしん経営塾 21」						
信金内							
地域個人	・金融教育活動（中学）						
	文化・社会的貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「びさいまつり」参加 ・「尾信杯少年野球大会」開催 ・経済講演会 ・年金友の会旅行 ・多重債務者問題への対応 					

		<ul style="list-style-type: none"> ・日曜営業店舗での相談
	環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動
	自己資本比率 預貸率 預証率	<p>11.48%</p> <p>45.08%</p> <p>32.64%</p>
	経営理念	<p>基本方針</p> <p>国民大衆並びに中小企業者の金融機関として、地域社会を豊かに明るくするため、金融を通じて貢献する。</p> <p>経営方針</p> <p>全職員の理解と協力を得て誠意をもって経営にあたり、健全経営を維持し、会員、預金者の保護に万全を期すとともに、金融機関としての信用を高め、事業の発展向上に努力する。</p> <p>地域社会の繁栄と文化生活の向上をはかるため、地元の貯蓄力を結集させ、これを産業・生活福祉資金として地元積極的に融資し、すべての人々から親しまれ、愛される信用金庫となるべく努力する。</p> <p>職員の資質の向上をはかり人材を登用し、つねにその福利増進と生活向上に努力する。</p>
中 日 信 用 金 庫	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <p>創業・新事業に関する金融支援 33 件 (328,900 千円)</p> <p>経営相談・支援機能の強化</p> <p>外部機関との業務連携による融資 90 件 (638,200 千円)</p> <p>経営支援 51 先 (経営改善計画策定率 100%, ランクアップ率 18.55%)</p> <p>中小企業に適した資金供給方法の徹底</p> <p>不動産担保を徴求しない融資比率 54.83%</p> <p>「事業性無担保ローン元気くん」81 件 (633 百万円)</p> <p>「動産活用ローン元気くん A (エース)」</p> <p>地域経済への貢献</p> <p>「子育て家庭優遇カード事業」協賛</p> <p>「お江と絆のまち清州」定期</p> <p>「生物多様性について考えてみませんか」定期</p>
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営支援専門チーム」 ・「パイオニア・プロジェクトチーム」(事業性融資専門金融相談) ・各種支援 ・しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2010」開催
	人材 育成	<ul style="list-style-type: none"> 取引先 <ul style="list-style-type: none"> ・中信青年経営者会 ・海外旅行 研修会 講演会 信金内 <ul style="list-style-type: none"> ・研修・営業活動事例発表会 ・業種別研究会 地域個人
	文化・社会的 貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・全店に「サービス介助士」の資格保有者を配置 ・ちゅうしんアルル会 旅行 ミュージカル鑑賞 ・コンサート ・寄席 ・アートギャラリー ・寄付
	環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境金融推進研究会」を組織し、「環境金融」のあり方を研究 ・「環境レポート」発行 ・環境関連への寄付 ・「チャレンジ 25 キャンペーン」参加

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

		<ul style="list-style-type: none"> ・LED 照明，地熱循環システムなどを導入 ・お客さまの環境に配慮した取組みを法人格付けに反映 ・「バケツで稲作り」 	
東 春 信 用 金 庫	自己資本比率	8.01%	
	預貸率	51.46%	
	預証率	33.05%	
	経営理念	<p>経営理念 すべてを顧客への感謝に発し，円滑なる中小企業金融を通じ，地域社会の発展に貢献するを第一義とし，併せて従業員の幸福と共に永久の繁栄を期する</p> <p>経営方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の向上 コンプライアンス態勢や顧客保護態勢を徹底していくほか，地域社会との共生に向けた地域密着型金融の推進等によって，地域社会からの信頼性の向上を目指します。 ・経営基盤の確立 会員・顧客の信頼を得て，会員・顧客のニーズに応えられる金融サービスを提供していくために，収益力とリスク管理を強化して経営基盤の確立を図ります。 ・人材の育成 会員・顧客サービスの向上，リスク管理の強化等を図り，地域に貢献できる組織を維持，発展させていくために，会員・顧客に信頼され，適切な業務運営を遂行できる人材の育成を図るとともに，組織に貢献する職員の生活向上と福利の増進を図ります。 	
	地域密着型金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 とうしゅん地域密着型金融活性化プログラム 創業ローン 43 件 (115 百万円) 経営革新ローン 31 件 (97 百万円) 経営改善支援の取組 46 先 (うちランクアップ 4 先) 中小企業に適した資金供給方法の徹底 地域経済への貢献 子育て支援定期積金「夢・未来」 エコ応援積金</p>	
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2010」に参加 ・「かすがい発見ビジネスフォーラム」参加 	
	人材育成	取引先	・りんどう経営研究会
		信金内	<ul style="list-style-type: none"> ・「サービス介助士」の資格取得 ・研修 外部研修 52 名派遣 内部集合研修 8 回 臨店研修 122 回
		地域個人	・「金融経済教育講座」(小中学校)
	文化・社会的貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て家庭優待事業」協賛 ・「こまき産業フェスタ 2010」「小牧平成夏まつり」参加 ・融資，資金運用，年金相談 ・東春旅行友の会 ・春日井まつり「古本バザール」に協賛・参加 ・ロビー展示 ・観劇会 ・小牧シティマラソンに協賛 ・「交通安全キャンペーン」参加 	
環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動 ・花の種プレゼント 		

名古屋銀行	自己資本比率 預貸率 預証率	10.90% 73.30% 28.43% 中小企業向け貸出比率 83.4%
	経営理念	<p>経営理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社是 地域社会の繁栄に奉仕する これが銀行の発展と行員の幸福を併せもたらすものである ・行訓 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「よいサービス」 2. 「よい人」 3. 「よい経営」 <p>経営方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会への貢献 当行は、地域金融機関として、銀行業務の公共性に鑑み、預金者等の保護を確保し、中小企業の健全な発展や地域住民の生活向上に貢献する質の高い金融サービスを提供することにより地域社会と共に歩みます。 2. 収益力の強化とリスク管理の徹底 (略) 3. お客さまのニーズに適合した金融サービスの提供 (略) 4. コンプライアンスの実践 (略) 5. 自由闊達な企業風土の確立 (略)
	地域密着型 金融の取組み	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <p>経営改善支援 352 先 経営改善支援取組率 2.8% 再生計画策定率 82.5% ランクアップ率 5.0%</p> <p>M&A を含む事業承継支援 305 件 創業・新事業支援融資 246 百万 中小企業に適した資金供給方法の徹底 動産を活用した融資 13 件 (90 百万円) シンジケートローン 私募債 地域経済への貢献 「成長基盤強化・支援対応プログラム」</p>
	産業振興 / 創業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「三行ビジネス商談会」(名古屋, 十六, 百五) ・産学連携協定 (名古屋大学) ・経営コンサルティング ・事業承継コンサルティング ・M&A 業務 ・「農業経営アドバイザー」誕生 ・くらしと経営の相談センター ・海外進出・貿易支援 ・名銀「中国ビジネスクラブ」 情報提供, セミナー ・「日中ものづくり商談会@上海 2011」開催

信用金庫の経営理念と地域貢献活動

人材育成	取引先	
	銀行内	・研修制度 新入行員研修 融資審査研修
	地域個人	
文化・社会的貢献		・住宅ローン，資産運用，年金相談 ・相続業務 ・東山動植物園再生プランの支援 ・コンサート ・メッセナゴヤ 2010 へ出店 ・献血活動 ・義援金
	環境への貢献	・名銀グリーン財団 樹木の寄贈 学校関係緑化コンクールへの助成 花苗の提供 ・堀川清掃活動 ・LED 照明の採用 ・屋上・駐車場緑化
愛知銀行	自己資本比率	11.60%
	預貸率	66.93%
	預証率	37.56%
		個人・中小企業向け貸出比率 84.9%
経営理念		<p>経営理念</p> <p>当行は「行是」に明示されておりますように、創業以来、一貫して「堅実経営に徹し、業績の発展をとおして地域社会の繁栄に寄与する」ことを経営理念として掲げてまいりました。今後、経営環境がいかに変化してもこの経営理念を堅持することにより、地域の皆さまから最も信頼され、最も存在感のある銀行を目指すとともに、公共性の高い地域金融機関としての社会的使命を果たしてまいります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 堅実経営に徹します。 堅実経営に徹し、業績の発展をとおして地域社会の繁栄に寄与します。 2. 地域中心の営業に徹します。 地域社会にしっかりと根をおろし、地域のニーズに速やかにお応えし、心のふれあいをとおしてその地域に最も役に立ち、信頼される銀行に徹します。 3. リーテイルバンキングに徹します。 当行は個人や中小企業のみなさまに、安定した資金を供給するとともに情報の提供や各種経営相談等を行い、みなさま方の良きパートナーとして、何よりも頼りになる銀行に徹します。 4. サービス精神に徹します。 全行員がお客さま第一の精神をもって、お客さまのニーズに積極的にお応えするため、魅力ある商品・サービスの開発、充実をはかるなど総合金融サービスの提供に徹します。 5. 効率化・合理化に徹します。 健全経営のための合理化をさらにおすすすめ、組織の活性化に努めるとともに生産性の向上をはかり、経営体質の強化に徹します。
地域密着型金融の取組み		<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <p>ビジネスマッチング紹介件数 495 件</p> <p>事業承継，M&A の相談件数 356 件</p> <p>経営改善計画書策定 531 先</p> <p>中小企業に適した資金供給方法の徹底</p> <p>地域経済への貢献</p> <p>「あいぎん未来創造ファンド」（ベンチャー企業の育成・支援）22 先（448 百万円）</p>

産業振興 / 創業支援		<ul style="list-style-type: none"> ・愛銀ビジネス商談会 ・経営相談・情報提供のためのセミナー開催 ・海外ビジネスの支援
人材 育成	取引先	
	銀行内	
	地域個人	・「エコノミクス甲子園東海大会」開催（金融経済教育活動）
文化・社会的 貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・年金サークル（ゆうゆう） 観劇，旅行，セミナー ・資産運用セミナー ・愛銀文化講演会 ・愛銀教育文化財団（教育・文化活動への助成等） ・「愛銀ライフサークル」，「チューリップ交通安全協会」（社会福祉事業の一助として寄付）
環境への貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ25キャンペーン」参加 ・エコ対応重視型の店舗づくりの推進（壁面緑化，ハイブリッド照明灯の設置など）
中 京 銀 行	自己資本比率	10.62%
	預貸率	76.18%
	預証率	28.16%
		中小企業向け貸出比率 83%
経営理念		<p>企業理念</p> <p>地域の力を未来にひらく 「中京銀行は，地域の金融機関として，地域社会のすべての人々の潜在的な力が大きく広く発揮されるようお手伝いし，より豊かな未来への道をひらいていきます。」</p> <p>進化しつづけ信頼に応える 「中京銀行は，たゆみない進歩，発展により企業価値の向上を図るとともに，優れたサービスの提供によってお客さまや地域社会，株主の信頼と期待に応えてゆきます。」</p> <p>「中京銀行は，法令の遵守，環境への配慮，適切なリスク管理，企業情報の開示など透明性の高い経営を行い，信頼と信用に応えてゆきます。」</p> <p>創意と誠意でベストをつくす 「私たちは，中京銀行の一員としての誇りをもって，感性と能力を磨き，創意工夫し，誠実な努力と熱意で自らの役割を果たすとともに，より高い目標の達成にチャレンジし続けます。」</p> <p>行動指針 誠実， 挑戦， 遵守， 貢献， 進歩， 協調</p> <p>倫理綱領 信頼の確立， お客さま本位の徹底， 法令等の厳格な遵守， 人権および環境の尊重， 反社会的勢力との対決</p>
地域密着型 金融の取組み		<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p> <p>創業支援パッケージの提案 117 先（うち申し込み 50 先）</p> <p>ビジネスマッチング紹介 204 件（うちビジネスマッチング成約 57 件）</p> <p>経営改善計画書作成 44 先（うちランクアップ 7 先）</p> <p>事業承継支援 85 先</p> <p>中小企業に適した資金供給方法の徹底</p> <p>シンジケートローン</p> <p>私募債</p> <p>地域経済への貢献</p>

産業振興 / 創業支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業支援 「大学発ベンチャー ビジネスグランプリ」協賛 ・ 経営改善支援 財務診断サービス 事業計画書作成セミナー ・ 事業再生支援・事業承継支援 個別訪問
人材 育成	取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者セミナー ・ お取引先新入社員向けセミナー
	銀行内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資対応力強化研修 (290名)
	地域個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知文教大学 (キャリアデザイン論) に講師を派遣
文化・社会的 貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「メッセナゴヤ 2010」 出展
環境への貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「チャレンジ 25 キャンペーン」 参加 ・ 環境配慮型店舗 (太陽光パネル, LED 照明の使用など)

(注) 本資料の枠組みは、鈴木 (2008) の「表終 - 1」 (p. 188) を参考にして筆者が作成した。
(資料) 各信用金庫および各地方銀行の 2011 年 3 月期のディスクロージャー誌。